



石巻市に 1200人分の 被災者の要望 申し入れ!!

要望実現へ 早く!



集められた聞き取り用紙が積み上げられた

申し入れをおこなう左から三浦一敏市議団長、市長をはさみ水沢ふじえ、庄司よしあき各市議

生活実態合わせ

申し入れでは、切迫した問題として自衛隊が撤退し、お風呂に不便になっていると求め、「あいプラザと市民会館の隣地の二箇所へ早急に設置したい」と答えました。その他、渡波小学校にシャワー室を増設することが報告されました。

また、北上につこりパーク仮設住宅のテレビ受信の件は、「近く受信できるように工事したい」と回答し、信号機についても「61箇所も動いていない。宮城県に正式に文書で申し入れる」との回答も得ました。

原発ゼロ署名も次々に



救援センター集計のみ
おかげさまで
2,700
筆超

鹿妻地区で署名に応える被災者のみなさん

10日、日本共産党石巻市議団(団長 三浦一敏)は、亀山紘石巻市長に8項目の申し入れを行いました。

この間、日本共産党の救援ボランティアが仮設住宅を訪問して要望を聞き取りました。ファイル6冊、千二百人分を超えるつづりを持参し、仮設住宅の一層の改善を求めました。

市長は「ありがとうございます」と手にとりて見ながら「手すりの設置」「や」段差の解消」「ジャリ道の補修」など「早速の対応」に回答。

また、教育委員会事務局長は「休止になっていた移動図書館車を復活させ、仮設住宅を巡回させたい」とのべました。

「水産特区」について

申し入れの中で、石巻市議団は、水産業に関連して、宮城県の主張している『水産特区』について言及し、それに対して「漁業者の意向を尊重すべき」と従来の考えを強調しました。

日本共産党の政策と見解を
紹介しています。